

《旧RD最終処分場二次対策工事 工事情報 第284号 をお知らせいたします》

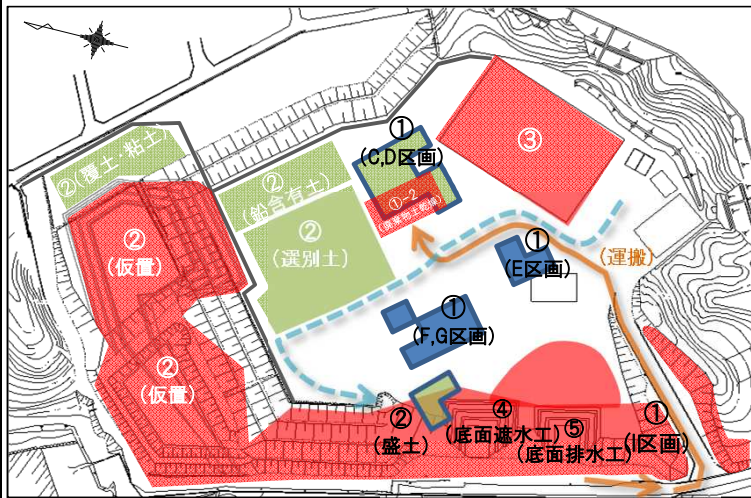
作成日:令和元年8月19日

日付	施工実績										施工予定										備考	
	令和元年8月																					
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		日
工種・作業内容	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
廃棄物土・有害物掘削工																						
① 有害物掘削工	区画 掘削										一段目アンカー打設										場内整備・各種養生	
	E区画 鋼矢板打設										埋戻し 支保工解体											
	F、G区画 埋戻し 支保工解体										二段目 埋戻し 支保工解体											
② 選別土仮置・盛土工	選別土仮置・埋戻し										D・E工区盛土										休工	
	D・E工区盛土										D・E工区埋戻し D・E工区盛土											
廃棄物選別工																						
③ 選別処理工	一次選別(粗選別)																				粗選別	
	二次選別(機械選別)										粗選別											
汚染地下水拡散防止対策工																						
④ 底面・側面遮水工	D・E工区										底面遮水工										排水管設置	
	D・E工区 プレスト管φ800																					

【工事施工予定位置図】

【工事施工状況写真】

撮影日:令和元年8月7日



① 有害物掘削工
I区画のアンカー打設を行っています。



① 有害物掘削工
FG区画の埋戻しを行っています。



④ 底面・側面遮水工
D・E工区側面遮水工を行っています。

【お知らせ】

・第30回旧RD最終処分場問題連絡協議会を下記のとおり開催します。

日時:令和元年9月13日(金) 19時00分～

場所:栗東市コミュニティセンター治田東

《騒音・振動・粉じん・臭気自動計測の週間結果報告》

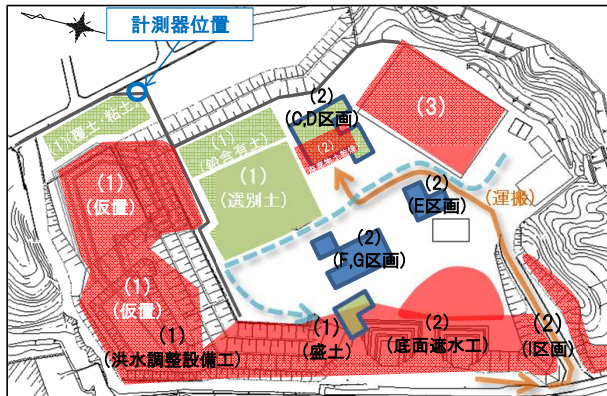
(報告対象期間:8月2日～8月8日)

【概要】

二次対策工事による周辺環境への影響を調査するために、IBRD最終処分場と隣接する住宅地との境界に計測器を設置し、「騒音・振動・粉じん・臭気」を連続自動計測しています。
各項目の1週間分の計測結果をグラフにしました。
※網掛け部は休工の時間帯(休日および夜間)です。

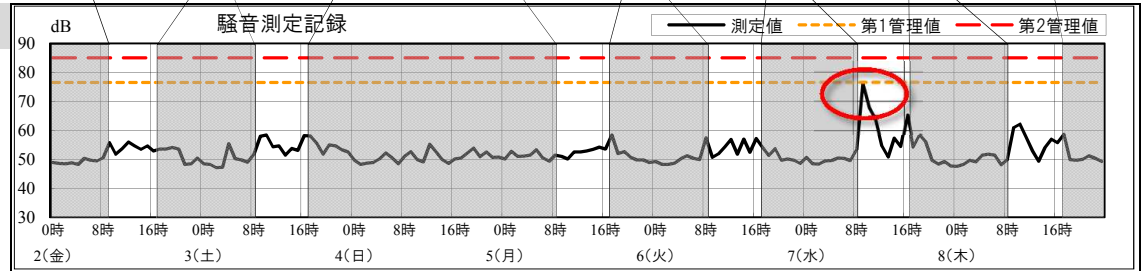
主な実施作業内容	令和元年8月							備考
	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	
廃棄物土・有害物掘削工			休 工					
(1)選別土仮置・盛土工 D・E工区埋戻								
廃棄物土・有害物掘削工								
(2)廃棄物土掘削工 E工区F・G・E・I区画				底面遮水工、FG埋戻		FG埋戻、底面遮水工、区画アンカー打設		
廃棄物選別工								
(3)選別処理施設工				運転				

【位置図】



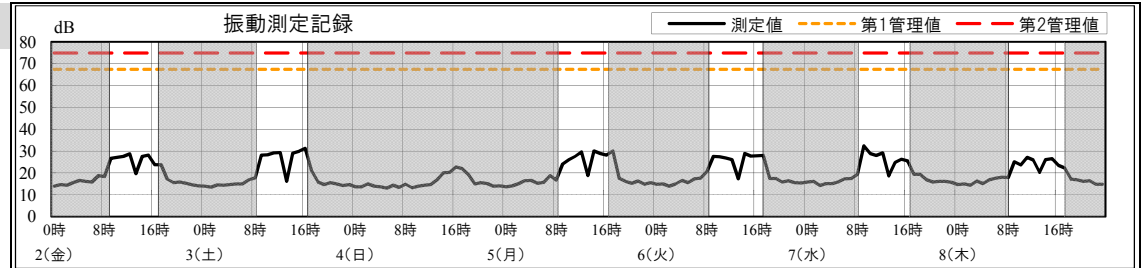
【騒音】

8月7日騒音値が高くなっているのは、計測器横で草刈りを行ったためです。



【振動】

(特になし)

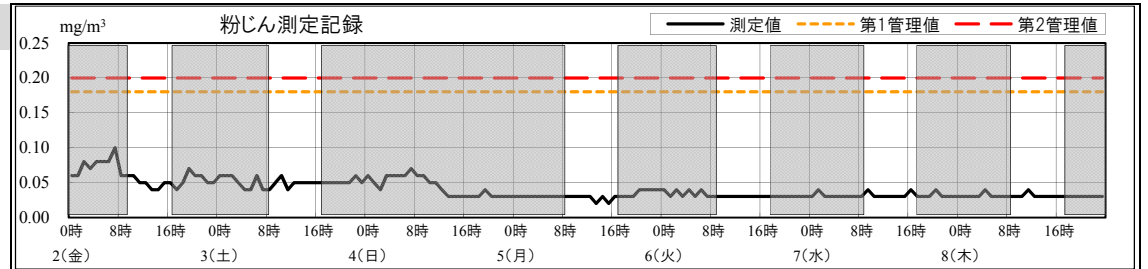


【測定値管理基準】

	騒音	振動	粉じん	臭気
第1管理値 (基準値の90%)	76dB	67dB	0.18mg/m ³	10(センサー値)
第2管理値 (基準値)	85dB	75dB	0.2mg/m ³	10
基準値	85dB 栗東市の特定建設作業(騒音)に係る規制基準	75dB 栗東市の特定建設作業(振動)に係る規制基準	0.2mg/m ³ 環境省「大気汚染に係る環境基準」の「環境上の条件・浮遊粒子状物質」記載基準	10(硫化水素臭などの異臭) 草津市「臭気指数規制基準 第1種地域 敷地境界線(第1号)」記載基準

【粉じん】

(特になし)



第1管理値を超過した場合

騒音 振動 粉じん	作業を一旦中断し注意喚起した後、警戒しつつ作業を行います
臭気	作業を一旦中断し、現場の監督員が直接臭いを確認します

第2管理値を超過した場合

騒音 振動 粉じん	直ちに作業を中断し、周辺7自治会長に連絡し原因究明後、対策を講じ作業を再開します
臭気	臭いの確認により硫化水素臭などの異臭がした場合には、直ちに作業を中断し、周辺7自治会長に連絡し対策を講じたうえで作業を再開します

【臭気】

(特になし)

